

南信州広域加工マップで南信州の農業を元気に！事業

取組に至る背景・事業の目的

飯田下伊那地域は土地利用型農業には向かない地域であることから少量多品目の農産物が生産され、早くから無人販売所や農産加工所が始まった「農産加工発祥の地」である。

特産加工開発連絡会は平成3年より各地の農産加工組織が集まり、農業従事者に付加価値農業の推進、地域特産品の伝承を目的に事業展開しているが、当地域には素晴らしい加工技術を持った事業所がいくつも存在する。

そこで南信州全体の加工所や農村レストランの皆さんとゆるやかな連携を組み農産加工所のマップを作製し、地域の農業生産者及び加工委託者に周知することで6次産業化の足掛かりとする。



【作成した加工マップ】

事業内容

- マップ発行（5万部）
 - ・南信州うまいもの商談会、南信州特産加工開発連絡会総会、研修会でマップへの掲載を広く呼びかけ
 - ・役員によるマップの構成・内容についての編集会議
- 6次産業化実践に向けて生産者や消費者との交流、加工所の資質向上のための研修会の開催
- 各種農業者の学習会での配布と、管内道の駅及び各掲載加工所の商品販売所のお客様に配布



【加工マップを活用した研修会】

事業効果

- 加工開発連絡会の会員だけでなく、管内の受託加工を行っている組織とのゆるやかな連携を組むことで、お互いが気楽に情報交換できる基盤ができた。また、6次産業を目指す方達に、地産地消の輪を広げ、活動を活性化させる一助となった。厳しい農業情勢の中で、振興策として農業加工品を検討する農家の増加が期待される。
- 大きさも手ごろで、南信州管内の名所や観光地の紹介とともに加工所が掲載してあるため、道の駅等を訪れる観光客などにも好評であるなど管内のイメージアップにも貢献できた。

工夫・苦勞した点、課題、今後の取組など

- 各種機関で企画する商談会やイベントにこのマップを活用し、地産地消を地域ぐるみで推進している南信州のPRを行っていききたい。
- 各種農業者の学習会でもこのマップを使い、6次産業化や付加価値農業、規格外品の利活用を推進したい。
- 食生活が欧米化している現代社会では、農産加工所が郷土食という食文化を伝える大事な役割も果たしていることを認識し、それぞれの農産加工活動に精進していききたい。

【選定のポイント】
管内の受託加工所が一致連携して、地域の農産加工品の認知度の向上や、加工所と生産者とのマッチングを狙った新たな取組で、今後の地域全体における6次産業化推進の足掛かりとなる活動として評価できる。

団体名 南信州特産加工開発連絡会（阿智村）	事業タイプ	ソフト事業
連絡先 0265-43-3730	事業費	1,501,000円
メールアドレス info@achinosato.com	支援金額	1,501,000円